

吉無田マウンテンバイクフェスタ

ブース出展のお願い



2017年1月
オフロードバイシクル九州

はじめに

昨年は大会の直前に発生した熊本地震の影響で大会を中止とせざるを得ませんでした。被害にあわれた方々にはお見舞いを申し上げます。また、早期の復興をお祈りしております。その後の復旧も半ばのうちに賑やかなイベントを開催して良いものかと逡巡いたしました。辛い時こそ前を向いてと言う気持ちと熊本から元気を発信し、現在の状況を各地の方に知っていただきたいとの思いで開催することといたしました。奇しくも諸般の事情から本震から1年後の日にちとなったことをしっかり受け止め盛大な大会にしたいと考えております。そのために皆様からのご協力をお願いする次第です。

第1回の参加者は150名ほどであったこの大会も10回を越え、500名近い参加者を集めるほどに成長してきました。最近の大会では全ての種目で自動計測を取り入れリアルタイムの速報や記録証の発行など参加者の満足度を高める工夫を取り入れました。増大する参加者に対応するため施設管理者の了解のもとコースの延長、改善も行っています。

お陰さまで、ブースの出展は、数や規模から見ても国内でも有数のものとなっており、会場内の出展ブースも30を超え自転車関連はもちろんキャンピングカーや飲食など幅広く展開し大会の盛り上がりの大きな要素となっております。

御社にもご出展いただき大会を盛り上げていただきたいとお願いする次第です。ブースの展開に関しましてご意見をいただければありがたく思います。

出展の詳細については後述いたしますがご検討いただきますようお願いいたします。また、ご協賛も募集しておりますのでご一考くだされば幸いです。

2017年1月

オフロードバイシクル九州

代表 磯島 純一

連絡先

〒823-0011 福岡県宮若市宮田 3622-1

オフロードバイシクル九州 磯島純一

Phone:090 7161 9526 / FAX:0949 33 3344

E-mail ; mail@ob-q.net

大会の特徴

- **複数種目同時開催**

エンデュランス（持久）系のXC100&XC200、グラビティ（下り）系のダウンヒル、小学生以下のキッズチャレンジ、それぞれの趣向に応じた種目を家族で楽しめるように1日でパッケージしています。

今回よりXCのクラス分けを入賞を狙いやすく、参加しやすいように変更いたしました。土曜日のプログラムも誰もが楽しめる企画を検討しています。

- **会場のロケーション**

会場の「緑の村」は阿蘇外輪山の西側中腹に位置し、眼下には熊本市街地、遠くには有明海越しに雲仙を望む事ができます。雄大な阿蘇の風景の中で大会が開催されます。

地理的には九州の中心部に当たり各地からのアクセスも良好です。最寄りのインタチェンジや熊本市内からも40分程度で行くことができます。

この時期は野焼き後の緑が芽吹く時期にあたります。牧野にレイアウトされたコースは、草丈も低く、広い範囲を見渡すことができます。コースの大半を見渡すことができることから観戦にも適しています。

コースのレイアウトも安全面を最重視しながらもマウンテンバイクらしさが楽しめるように工夫を凝らしています。大半は草地のため万が一の転倒の際も比較的安全です。

- **ブースの展開**

多くのブースが出展しエキスポを形成し会場に華を添えています。これだけの数、規模を有する大会は国内でもわずかです。

自転車メーカーは最新型の試乗車を準備し、販売店はグッズや特売品を充実させています。キャンピングカーのブースでは自転車を中心としたアウトドアライフの提案も行われています。飲食ブースを目的に来場される方もいらっしゃるようです。

大会データ

大会名：吉無田マウンテンバイクフェスタ 2017

日程：2017年4月15日（土）・16日（日）

場所：吉無田高原「緑の村」（熊本県上益城郡御船町田代）

ブログ：吉無田マウンテンバイクフェスタ (<http://obq.yoka-yoka.jp/>)

主催：オフロードバイシクル九州／日本マウンテンバイク協会福岡県支部

後援（予定）：熊本県 御船町 日本マウンテンバイク協会

協力（予定）：よしむた MTB クラブ

趣旨

九州・山口地区でのマウンテンバイクの普及と発展のため多くの愛好者が集い競い合う事で競技力の向上を図る。様々な種目や地域の愛好者と交流を深める事で仲間作りを促し普及に繋げる。

開催地の魅力を発信することにより開催地域の振興の発端となる。

大会概要

2005年4月より始まった大会。今ではシーズンのオープニングを告げる大会として認識されている。

当初よりエンデュランス系（持久系）、グラビティ系（下り系）、キッズレース、スクールと多種目が複合的に開催されている貴重な大会。

会場は九州の中心部にあり各地からのアクセスも良好である。阿蘇外輪山西側の中腹に位置し熊本市内はもとより有明海越しに雲仙岳を眺望する事ができる。牧野を野焼きした直後の芽吹く時期であり会場内を広く見渡す事ができ観戦にも適している。会場内には自転車関係のブースや飲食ブースが並びエキスポが形成され会場の盛り上がり貢献している。

2015 年度実績

参加者数；マウンテンバイクの学校	24 名
XC100	78 組 82 名
XC200	54 組 75 名
ダウンヒル	62 名
恐竜チャレンジ	31 名
キッズチャレンジ	102 名
総計	341 組 366 名

出展者数；メーカー系	11 店
販売店	12 店
飲食	6 店
その他（車、広報）	2 店
計	31 店

2014 年実績

参加者数	延べ	478 名
出展者数	合計	28 ブース



吉無田マウンテンバイクフェスタ (2015/4/18) 吉無田高原「緑の村」

開催基準

- 政変等により当国の社会情勢に大きな変動が認められるとき。
- 甚大な天災、地震、火山の噴火などにより開催地に直接影響がある場合。あるいは参加者や大会関係者の来場や帰宅に多大な影響を及ぼす可能性がある場合。
- 気象に関する警報が同時に2つ以上発せられたとき。（高潮、津波はのぞく）
- 大会中の事故による負傷者の救出のため必要なとき。
- 気象の急変が考えられる場合。（竜巻の発生、落雷の危険など。）
- その他（空からの落下物、地面の陥没などにより大会運営に支障を来す場合）

上記のいずれかに該当する場合、大会会長が大会の中止、中断を決定する。

該当しないまでも多少の影響が考えられる場合は大会会長がプログラムの変更など指示を出す。

上記情報の確認はインターネット（yahoo!）の情報を大会前日および当日6時、9時、12時、15時に確認し判断する。



DH シリーズ (2014/12/14) 吉無田高原「緑の村」

ブース出展のご案内

出展料：無料（大会を盛り上げてください。）

スペース：6m×6m／コマ（予定）

*契約ライダーがいらっしゃる場合は出場をお願いします。

*賞品としての協賛品をお願いします。

*ウェブサイトなどで出展の紹介をいたしますので、出店予定のブランド、ロゴマークのデータなどお送りください。

申し込み：

下記の出展要項をお読みいただき、末尾の申し込み用紙に必要事項を記入の上、下記にお送りください。

お申し込み後にお送りする誓約書、駐車許可証などの準備をお願いいたします。

〒823-0011 福岡県宮若市宮田 3622-1

オフロードバイシクル九州 磯島純一

Phone:090 7161 9526 / FAX:0949 33 3344

E-mail ; mail@ob-q.net

出展要項

【設営及び搬入、車両進入可能時間】

2017年4月15日（土）12:00～16:00

2017年4月16日（日）7:00～8:30 15:30～16:30

【荷物発送について】

事前に荷物を会場に発送希望の方は、下記住所までお送り下さい。

吉無田高原「緑の村」

〒861-3323 熊本県上益城郡御船町田代 8405-24 電話 096-285-2210

【進入許可証について】

別途お送りする「車両進入許可証」をプリントアウトの上、車の見える位置（ダッシュボード推奨）に提示して下さい。

会場内に進入できる車両は各出店者につき一台とします。

【配置について】

配置についてご希望がある場合は事前にご連絡下さい。

ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

【駐車場について】

大会会場南側の駐車場をご利用ください。

会場内に進入できる車両は各出展者につき一台とします。

【設備について】

浄水の確保は各自でお願いします。

電気の設備はございません。

テント、発電機など貸し出しは行っておりません。

携帯電話の電波は比較的良好な状態です。

【出店に関する注意事項】

- ① 飲食販売ブースに関しましては、保健所への届出は各出店者にて行い、保健所申請の範囲内での販売営業を遵守ください。

- ② 当日のゴミは、各出店者でお持ち帰りください。期間中会場および出店ブースの美化に努めてください。
- ③ BGMなどの演出を行う際は会場の運営に支障をきたさない様、また他の出店者の迷惑にならない様ご注意ください。
- ④ 商品管理は、各出店者にて行って下さい。自然災害の場合を含めて商品の損害については主催者では責任を負いかねます。
- ⑤ 会場の汚れ、破損等に十分にご注意の上、撤収の際は現状復帰をお願いいたします。
- ⑥ 雨天などでグラウンドのコンディションが悪い場合には、車両の乗り入れを制限する場合があります。
- ⑦ 当日は、主催者の指示に従ってください。
- ⑧ 上記注意事項に違反があった場合は、その場で出店取り消しとさせていただく場合がございます。

協賛のご案内

◆ 冠スポンサー （30万円）

- 大会名へスポンサー名の組み入れ
- 表彰台バックパネルにロゴ（大）表示
- ドキュメント類にロゴ（大）表示
- バナー等の掲示
- ブーススペース（大）の提供

◆ 種目スポンサー （5万円）

- 表彰台バックパネルにロゴ（小）表示
- ドキュメント類にロゴ（小）表示
- バナーの掲示（協賛種目のみ）
- ブーススペース（小）の提供

◆ ゼッケンスポンサー （5万円）

- ゼッケンプレートへのロゴの表示
- ブーススペース（小）の提供

* いずれの場合もウェブサイトや SNS においてリンクや告知をさせていただきます。

* 掲示物や広報品の作製費用は別途発生いたします。

* 詳細は個別に相談させていただきます。

オフロードバイシクル九州

1997年10月に九州マウンテンバイク協会の発展解消を引継ぐ形で発足した。

スクールやツーリングを中心に普及活動を行い、年に数回のレース形式のイベントを行っている。主催ばかりでなく他のイベントの運営サポートやアドバイスなども行っている。

当初からトレイル問題などマウンテンバイクを取り巻く環境にも注目し、九州マウンテンバイクコンベンションを毎年開催し、ゴミ拾いやゲストスピーチを交えマナーやモラルの向上に努めている。

現在の活動状況

- スクール・ツーリング「マウンテンバイクの学校」
- ロングライド「あの山の向こうへ」
- レース「吉無田マウンテンバイクフェスタ」
- シンポジウム「九州マウンテンバイクコンベンション」
- 情報発信「ホームページ」「九州を走ろう情報板」「facebook」

代表 磯島純一

1965年福岡県生まれ。19才のころマウンテンバイク（MTB）に出会い、その魅力にとりつかれる。

このMTBの魅力を多くの人に伝えようと、楽しい仲間と福岡ATBミーティング実行委員会を発足させ、ツーリングやスクールを始める。その後、福岡ATBミーティング実行委員会は九州MTB協会（QMA）に発展した。発起人であるY氏の上京によりQMAが機能しなくなったため、オフロードバイシクル九州を立ち上げる（1997）。また、同年日本マウンテンバイク協会（JMA）の福岡県支部を委嘱される。

その間に日本マウンテンバイク協会（JMA）公認インストラクター（A級）や日本自転車競技連盟（JCF）公認審判員（MTB1級）の資格を取得。

アメリカの世界選手権見学やスリックロックトレールを走ったこと（1994）やフランスのクルシカラリーへの参加（1995）、チベット横断（ラサ-カトマンドゥ）ツアー（2001）も大きな刺激になっている。近年は韓国のMTBクラブとの相互の訪問交流を続けている。

最近九州の枠を越え全国各地で行われている国際大会の競技審判やインストラクターの養成・検定などの活動も増えてきている。

